

お問い合わせ先

担当者	文化財保護課		担当：岡田 有矢 柳原 麻子		
連絡先	077-528-2638		内線 4951		
総合計画 位置付け	基本 方針	基本 政策	施策	取組の 方向性	主な 取組
	2	7	17	(2)	(1)

令和4年10月18日

あ の う こ ん ど う せ い か も ん よ う た い ぐ
穴太遺跡出土金銅製花文腰帯具について

－関西地方初、国内三例目の出土－

大津市弥生町(穴太遺跡)において、宅地造成工事に係り発掘調査を実施したところ、平安時代(9世紀後半～10世紀)の自然流路跡から金銅製花文腰帯具が出土しました。

金銅製花文腰帯具は、石川県畝田ナベタ遺跡、群馬県鳥羽遺跡に次いで国内三例目、関西では初めての出土となります。

出土品は、前の二例とは異なる文様が施されており、韓国済州島の龍潭洞遺跡出土腰帯具と文様や形態が酷似していることが特徴で、製作地は中国北方部にあった渤海もしくは契丹ではないかと考えられ、日本のみならず、東アジアの歴史を考える上で重要な発見といえます。

また、京都国立博物館の協力を得て、腰帯具の科学分析を行い、金属成分や金具同士の接着方法についても多くの発見がありました。詳細は別紙をご覧ください。

記

- 1 記者発表日時 令和4年10月24日(月) 14:00～
- 2 場 所 大津市埋蔵文化財調査センター(大津市滋賀里一丁目)
- 3 主 催 者 等 大津市文化財保護課
- 4 そ の 他 当出土品は、大津市埋蔵文化財調査センターで開催の埋蔵文化財みに
みに展「大津 むかし・むか～し」に期間限定展示をします。
展示期間：令和4年10月31日(月)から同年11月11日(金)